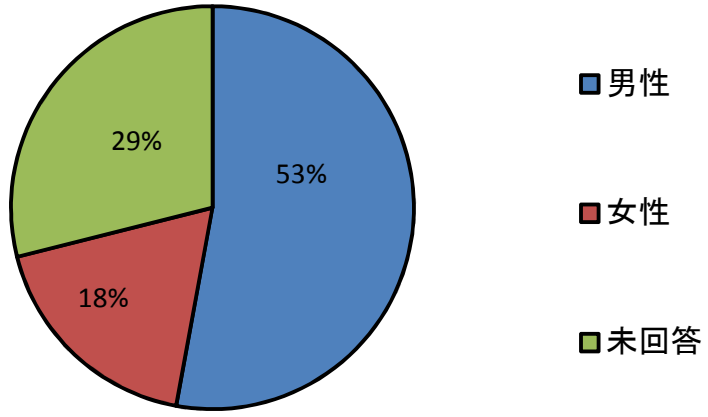
平成28年度公共施設マネジメント講演会
アンケート集計結果

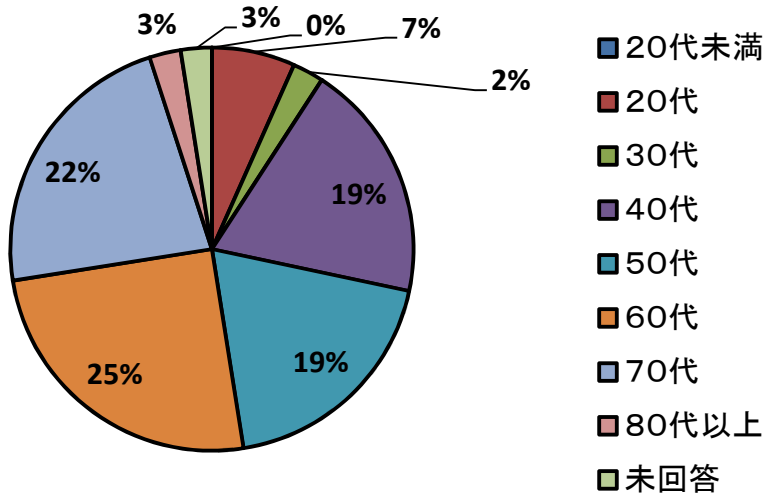
参加者数：150名、アンケート回答数：120件（回答率：80%）

問1　参加者の属性

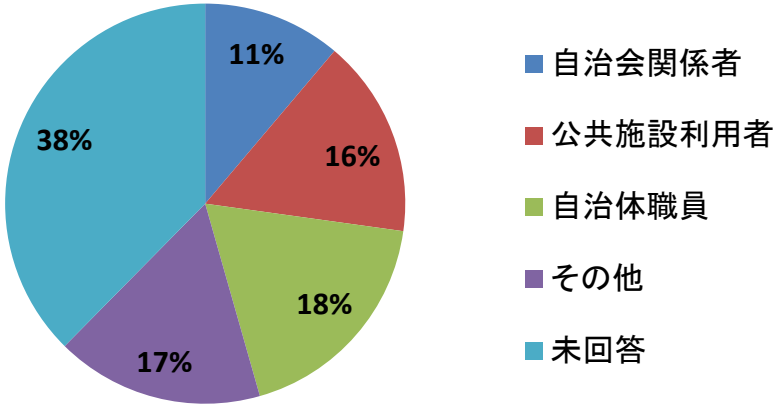
■ 性別



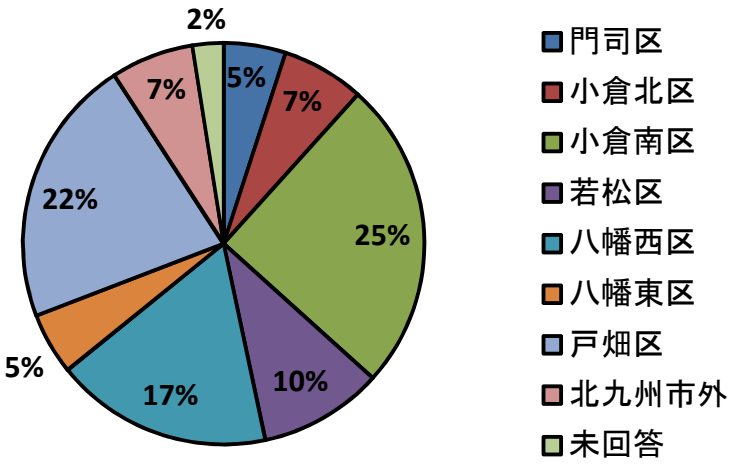
■ 年齢



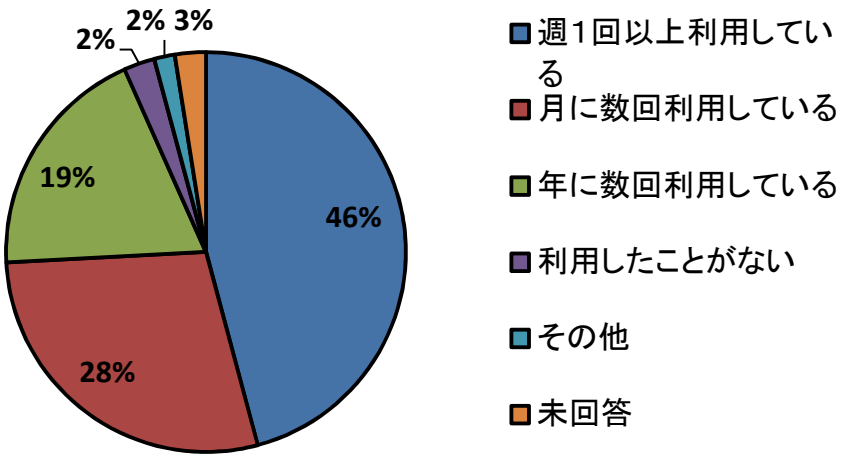
■ 所属


11%
16%
18%
17%
38%
自治会関係者
公共施設利用者
自治体職員
その他
未回答

■ 居住区


5%
7%
25%
10%
17%
5%
22%
7%
2%
門司区
小倉北区
小倉南区
若松区
八幡西区
八幡東区
戸畑区
北九州市外
未回答

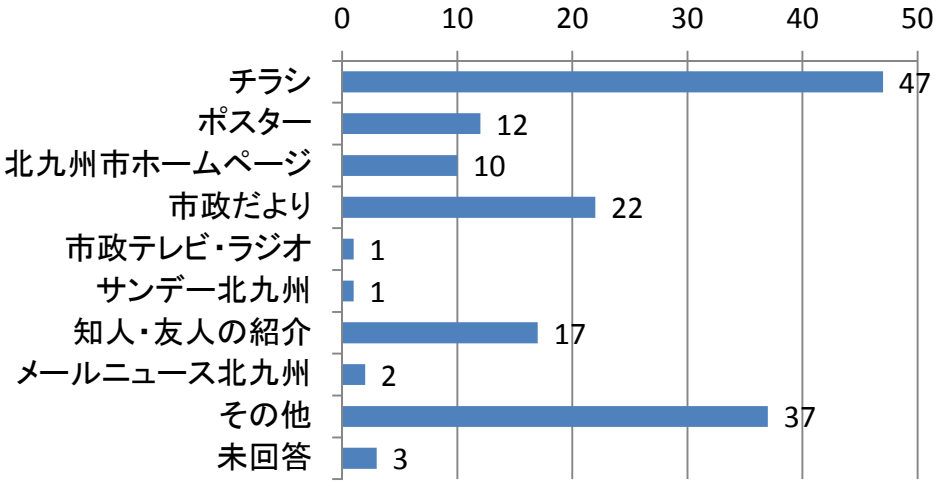
問2　公共施設の利用状況



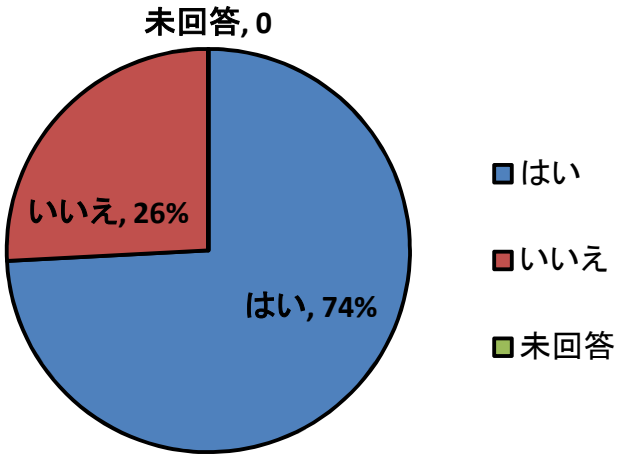
※　利用している公共施設（ご回答の多かったもの）

・市民センター
・図書館
・体育館

問3　講演会を知ったきっかけ（複数回答）

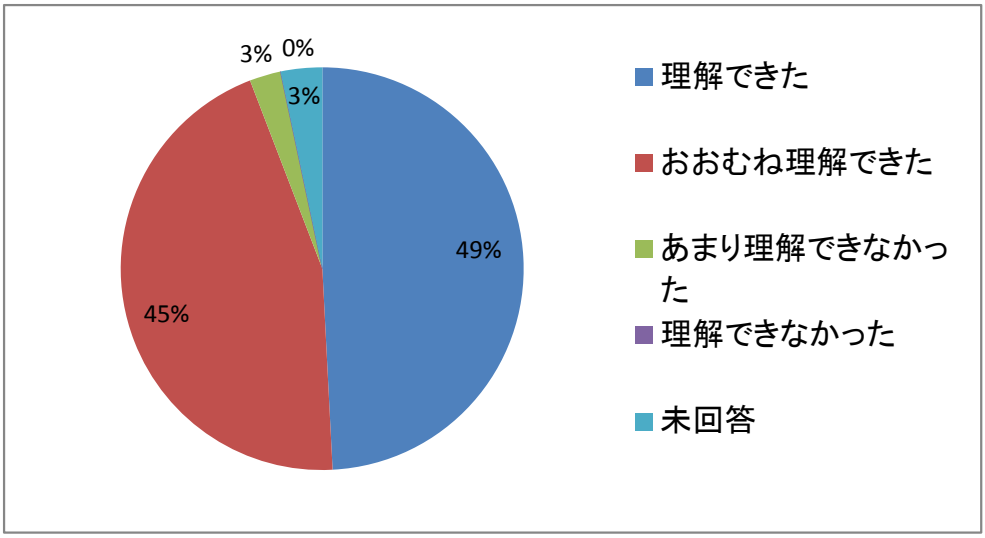


問４　「北九州市公共施設マネジメント実行計画」が策定されたことを知っていたか



問５　基調講演の内容について

■ 理解度

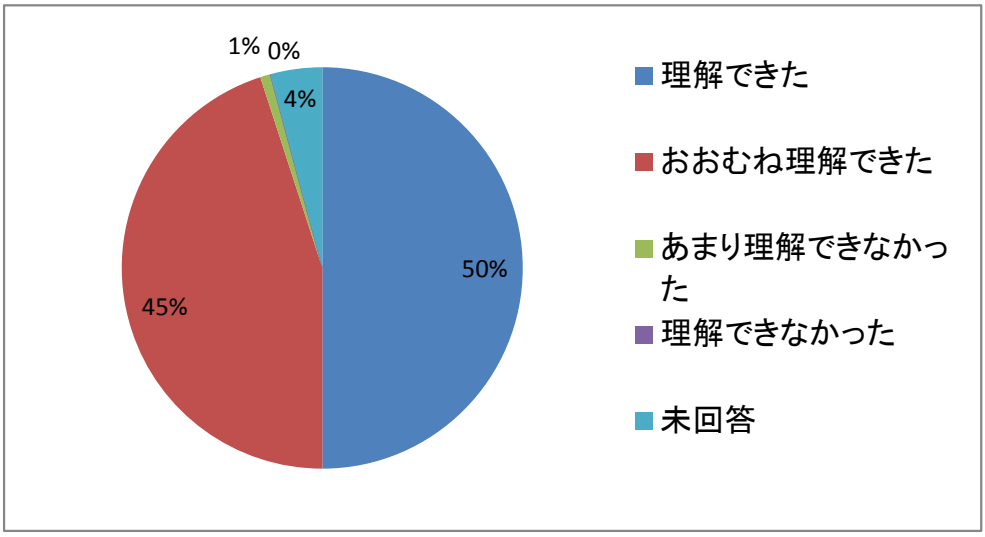


■ 主なご意見・ご感想

・公共施設マネジメントについて今後真剣に考えていかないといけない。
・若い世代にツケをまわさない施設運用を考えたい。
・このような考えを他の市民にも知らしめるべき。
・公共施設利用者として、どのような視点で問題を捉えるべきか理解できた。
・「破壊的イノベーション」の説明が革新的だった。
・講演時間が短いように感じた。

問6　施策説明の内容について

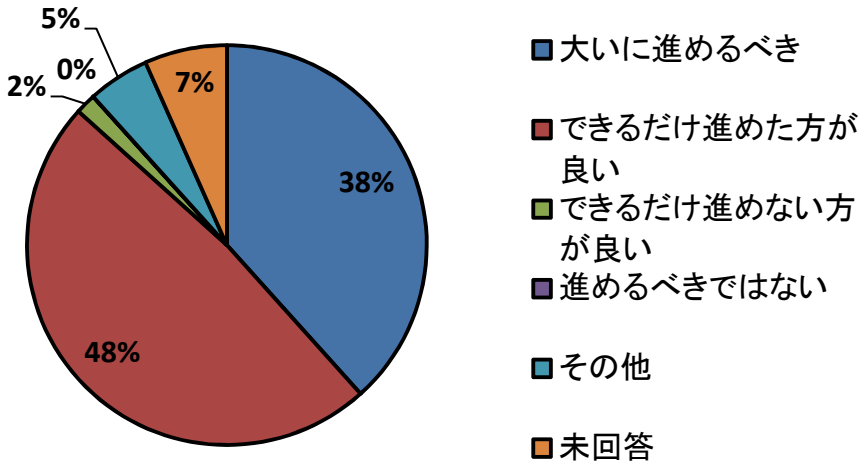
■ 理解度



■ 主なご意見・ご感想

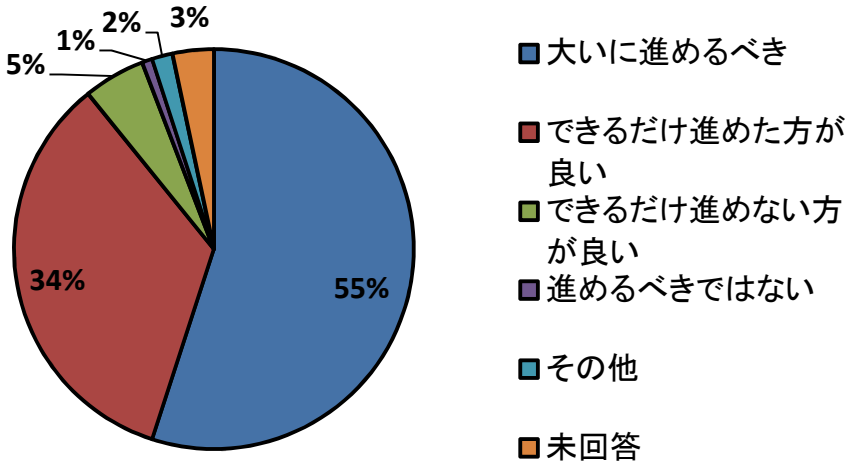
・公共施設マネジメントには情報公開、住民理解が必要。
・公共施設の集約、廃止、削減はもっと進めても良い。
・公共施設の削減は否定しないが、その代替施設があまりないことが、少し不安。
・利用料金の受益負担は当然のことだと思います。市民全員がまちづくりの当事者であることに気づくためにも。
・年長者の居場所は子ども関係の近くに複合し、連携した生活ができるようコーディネートの方向を考えてほしい。
・具体的な事例をもっと交えて説明してほしかった。

問７－１　「北九州市公共施設マネジメント実行計画」に対する考え

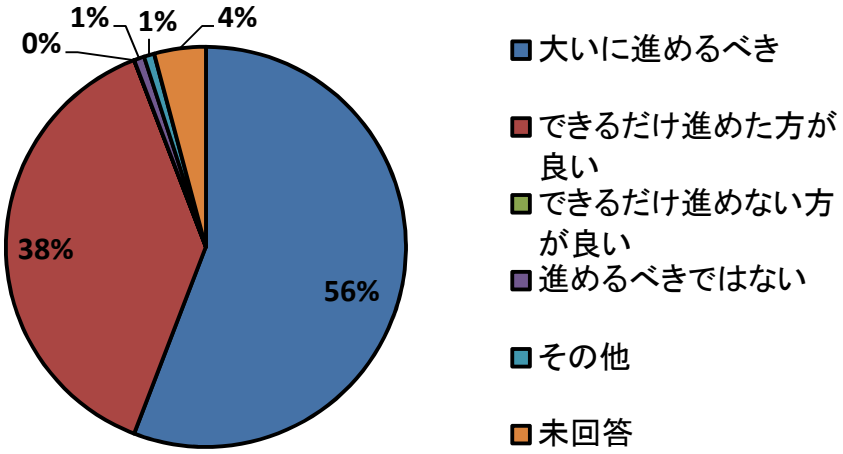


問７－２　実行計画策定にあたっての基本方針に対する考え

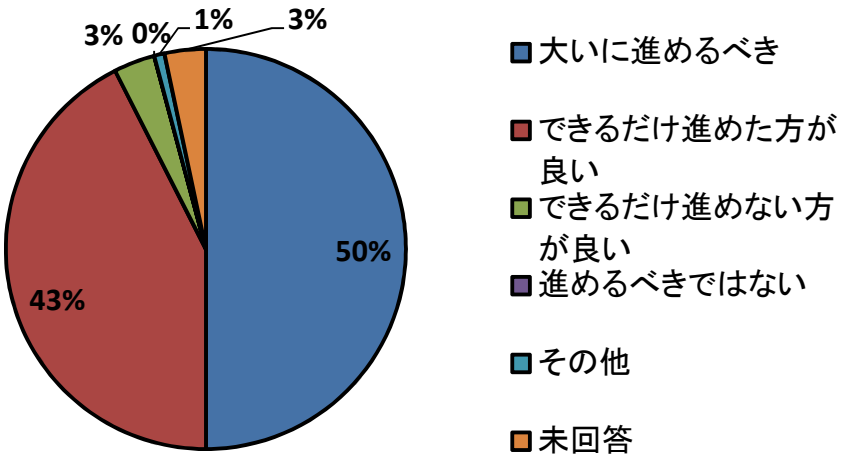
■　施設の集約と利用の効率化



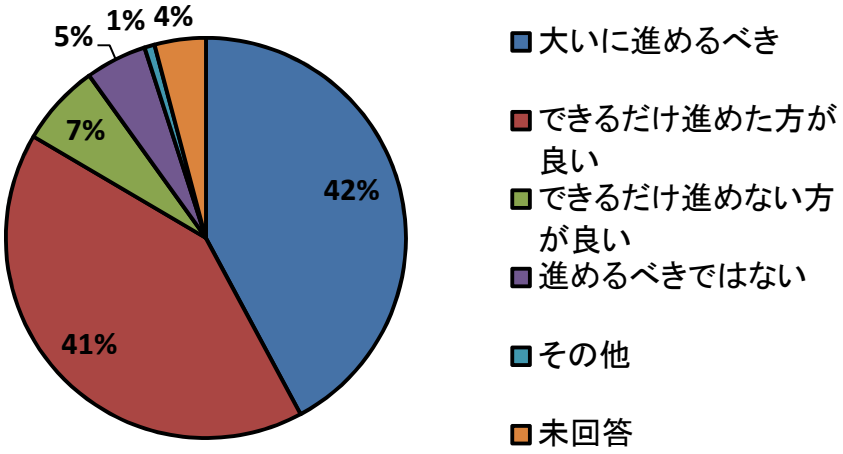
■ 民間施設･ノウハウの活用



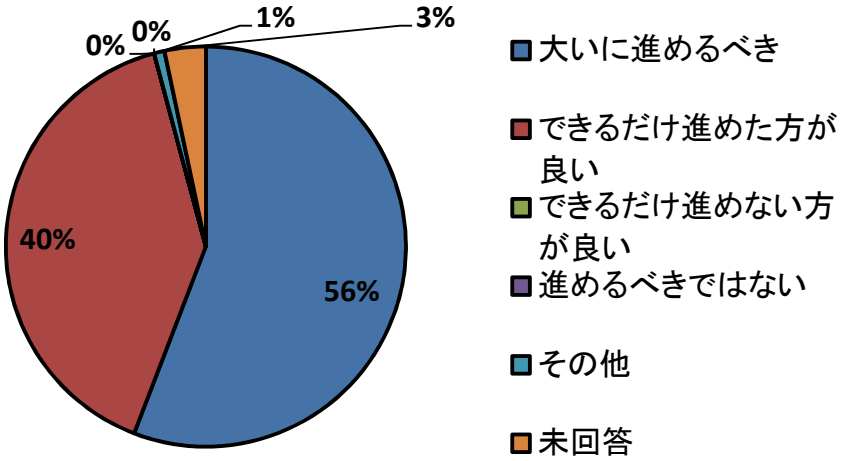
■ 特定目的施設や利用形態の見直し



■ 利用料金の見直し



■ まちづくりの視点からの資産の有効活用



問8　公共施設に関する意見要望

1　講演会に対するご意見

（主なご意見）

・行政観点の考察はしっかりしていると感じたが、にぎわいまちづくりなどの説明、分析が少ないのではないだろうか。

・大いに考えさせられた。改善すべき点は、早急に取り組むことが重要と考える。

・財政の問題や、今ある建物の維持管理の問題などよくわかった。

・残してほしいと願っていた施設に関しても難しいなと思えた。

・頭から反対するのではなく、こういう話をちゃんと聞くことが、大切だとわかった。

・副市長が言うように５ヶ年行動計画の最初の２年間は大切だ。

・話が早すぎ、あまり通じなかった。

2　公共施設の現状と課題に関するご意見

（主なご意見）

・将来人口増加はあまり伸びず、少子高齢化時代がまだまだ続く状況であり、思い切って老朽化した公共施設の抜本的な改築を行って、削減を思い切ってやってほしい。

・利用料金、駐車場の有料化を早く実施。減免をなくす。

・少しでも早く実施することを要望する。

・公共施設マネジメントの趣旨は分かったが熟考が必要。

・市民に痛みを共有してもらう覚悟が見えない。

・大きな公共施設を建設し、維持管理する時代でないのはよくわかる。しかし、歴史的背景や建築物としての価値を大切に考えてほしい。

3　今後の取組みに関するご意見

（１）　市民対応・広報に関するご意見

（主なご意見）

・市民の理解を得るための、地道な啓蒙活動をお願いしたい。

・市民の理解を深めるための今回のような講演会や、説明会を多く開催してほしいと思う。

・利用者に施設の財務状況を知らせる必要があると思う。

・北九州市の財政がマイナスだという現状を市民に分かりやすく説明し公共施設の有無を判断して、必要と判断した施設は地元住民とともに維持管理を、行政は少しスリムになることが大切だと思う。

・とにかく利用者の意見を一番に聞いてほしい。

・複合化については大いに賛成。しかし、交通利便性などの問題もあるかもしれない。

・できるだけ多くの説明会を開き、多くの人の理解を深めてほしい。与えられることに慣れている市民に受益者負担の気持ちを育て、皆でやっていく。

・しっかり議論をすべきだと思う。

（２）　施設の統廃合、適正配置に関するご意見

（主なご意見）

・利便性の良いところに、どんどん公共施設を移したほうがよい。

・集約にあたって居住地から遠くなる場合はフォローを考えてほしい。

・公共施設と学校（小、中、高）の併設を進めるべきである。

・利用価値のない、少ないものは管理費が増大するばかりなので、早く廃止すべきである。

・地域の人々は地域にあるため公共施設を利用する。今後高齢化が進むにつれて、場所が集約されると行けなくなる。

・門司競輪場が現在取り壊し工事中である。もっとＰＲをすべき。戸畑は集約され面積が増えた。しかしながら、どこも壊していない。取り壊し工事を大いに進めるべき。小倉南図書館が新築される。次にどこを減らすか説明すべき。

・市民利用の利便性を支える移動（交通）とセットで行う必要がある。運営、管理方式の再検討によるコストの縮減とともに、セットで行う必要がある。都市のコンパクト＆ネットワークをモデルとした集約と機能統合の先行的取り組みが必要である。

・マネジメントを進めるにあたって、各区にそれぞれ公共施設がないといけないという意識が皆に強い気がする。今日の話であったように、幅広い視野（行政に関して）と、財政などの市の現状を踏まえ、集約をもっとスムーズに進めていけたらという気がする。

・今までは地域に児童プールという施設があったが、それが無くなり、親子共々残念でならない。新しい施設では遠くなり、子どもだけでは行けない。

（３）　民間活力導入に関するご意見

（主なご意見）

・民間ノウハウの活用を進めるべきである。また、公共施設を売却するべきでは。

・コンパクトシティや、高齢者が住みやすいなどのビジョンがほしい。また、行政資産を民間が活用できるシステムを進めてほしい。

（４）　利用料金・運営方法の見直しに関するご意見

（主なご意見）

・施設利用料などの見直しは必要だと思う。維持管理費等の削減の必要もあると思う。

・利用料金は傾斜や減免対象も盛り込んで、弱者を追い詰めないように配慮してほしい。

（５）　その他のご意見

（主なご意見）

・まずは隗より始めよ。市役所内で、効率のよい税金の使い方を考えていただきたい。

・北九州市は各担当局間の連携が悪いためバラバラで事業が進められていきそうな気がする。各区単位でのプロジェクト組織をつくるなど、しっかりとした組織づくりをお願いしたい。また、市民からの意見をどのように扱うのか明確にしてほしい。

・次世代にツケをまわさない施策を進めてほしい。

・将来子どもたちにツケを回さないためにも、今、反対されたとしても取り組んでいただきたい。

・学校教育、社会教育等に関連する施設については、特にデリケートに考えてほしい。

・公共施設の 駐車スペースが少ない（狭い）のが不便と感じる。

・大規模スポーツ大会を実施できる施設が総合体育館しかないが、これでは国際大会（室内）などの誘致が難しいのではないだろうか。

・公共施設はコミュニティの一助けとなっているのではないだろうか。そのような観点の分析も踏まえてマネジメントしてもらいたい。